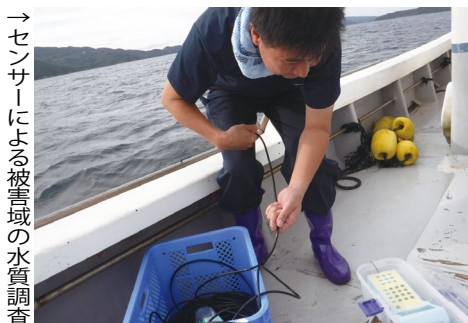


# 赤潮でブリ8万7千匹被害

## 川添町長ら支援策を県に要望



↑三反園知事に要望書を手渡す川添町長ら



→センサーによる被害域の水質調査



↑赤潮被害域に防除剤を散布

### 赤潮発生状況の経過と対応

8月21日(水)	県赤潮警報発令 八代海で着色、湯ノ口でシャットネラを確認 管内餌止め
29日(木)	シャットネラの細胞数が減少 餌止め解除 シャットトネラの細胞数が増殖 餌止め
30日(金)	着色域が獅子島北部沖合まで南下 東町漁協緊急理事会で協議 柏栗沖で被災
9月1日(日)	町・東町漁協合同赤潮対策本部設置
2日(月)	県赤潮対策本部設置
3日(火)	幣串、脇崎、宮ノ浦、薄井、伊唐で被災
4日(水)	幣串、宮ノ浦は一部埋設
5日(木)	脇崎、宮ノ浦で死魚の回収 幣串埋設終了
6日(金)	宮ノ浦埋設終了
8日(日)	管内全域の赤潮ほぼ消滅 給餌再開
12日(木)	県赤潮警報解除 県赤潮対策本部解散
10月4日(金)	町・東町漁協合同赤潮対策本部解散 川添町長、長元組合長らが県へ要望書提出

8月下旬から9月上旬にかけて八代海で発生した赤潮が本町海域を襲い、東町漁業協同組合（長元信男組合長）の養殖ブリなどに甚大な被害が出ました。

県は9月5日、同漁協のブリの被害が計8万6860匹、1億2060万円に上ったと発表し、本町では平成28年以來の大規模な被害となりました。

8月21日、管内海域で有害プランクトン「シャットネラ・アンテーカー」を確認し、県が赤潮警報を発令。同漁協では、いけすを避難させたり、餌止めをしたりして対応しました。

一時はシャットネラの細胞数が減少したものの、再び増殖し、9月3日から5日にかけて柏栗沿岸や幣串、脇崎、宮ノ浦、薄井、伊唐などに被害が及びました。

10月4日、川添町長、長元組合長らは今回受けた被害の支援内容を盛り込んだ要望書を三反園知事に提出しました。三反園知事は「できることを全面的に支援していく」と話しました。